

新学習指導要領の改訂のポイントと学習評価 (高等学校 公民科)

文部科学省

初等中等教育局

教育課程課教科調査官 磯山 恭子
飯塚 秀彦

1 公民科学習指導のポイント

2 公民科学習評価のポイント

1 公民科学習指導のポイント

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
『高等学校学習指導要領解説 公民編』（p.3～）（以下、『解説 公民編』）

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めるに際して、留意して取り組むこと

- ③ 1回1回の授業で全ての学びが実現されるものではない
単元や題材など内容や時間のまとまりの中で
- ・ 学習を見直し振り返る場面
 - ・ グループなどで対話する場面
 - ・ 生徒が考える場面と教師が教える場面など

1 公民科学習指導のポイント

➤ 公民科の目標の柱書き

『解説 公民編』(p.21)

社会的な_____を働かせ、_____

する活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な**公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。**

1 公民科学習指導のポイント

➤ 公民科の目標の柱書き

『解説 公民編』(p.21)

社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

1 公民科学習指導のポイント

➤ 「見方・考え方」とは？

『解説 公民編』（p.21）

社会的事象等の意味や意義，特色や相互の関連を考察したり，社会に見られる課題を把握して，その解決に向けて構想したりする際の「**視点や方法（考え方）**」

- ・ 「社会的な見方・考え方を働かせ」ることは，社会科，地理歴史科，公民科としての**本質的な学びを促し，深い学びを実現するための思考力，判断力の育成**はもとより，**生きて働く知識の習得に不可欠**であること，**主体的に学習に取り組む態度にも作用すること**などを踏まえると，**資質・能力全体に関わるもの**であると考えられるため，柱書に位置付けられている。

1 公民科学習指導のポイント

➤ 「見方・考え方」とは？

これからの時代に求められる資質・能力を身に付けさせる

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進が必要

深い学びの鍵としての「見方・考え方」を働かせることが重要

公民科においては「社会的な見方・考え方」を働かせる「**問い**」の設定が不可欠

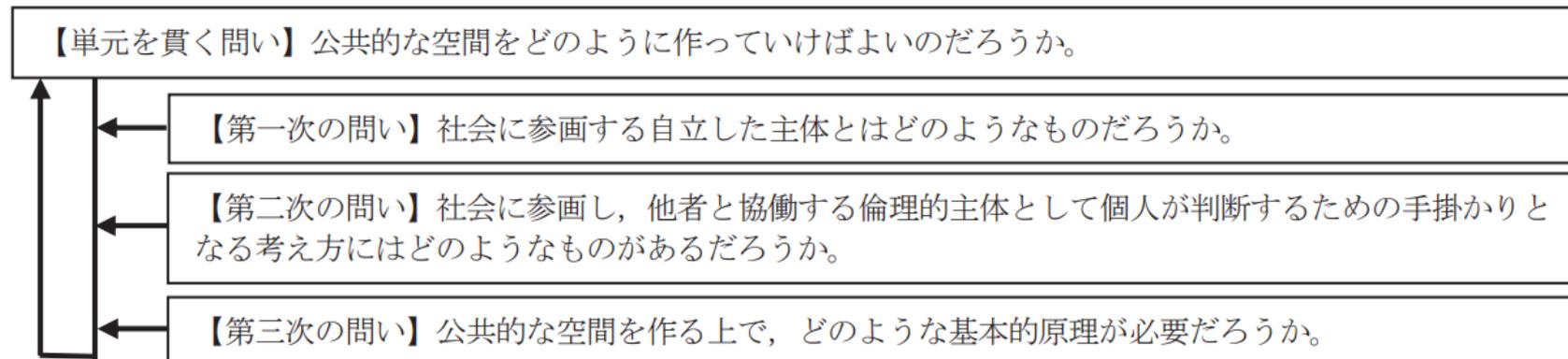
各科目の改善・充実の要点『解説 公民編』（p.16～）

1 公民科学学習指導のポイント

➤ 「問い」で単元を構想する

『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』の事例1（大項目A）（p.51）（以下、『参考資料』）

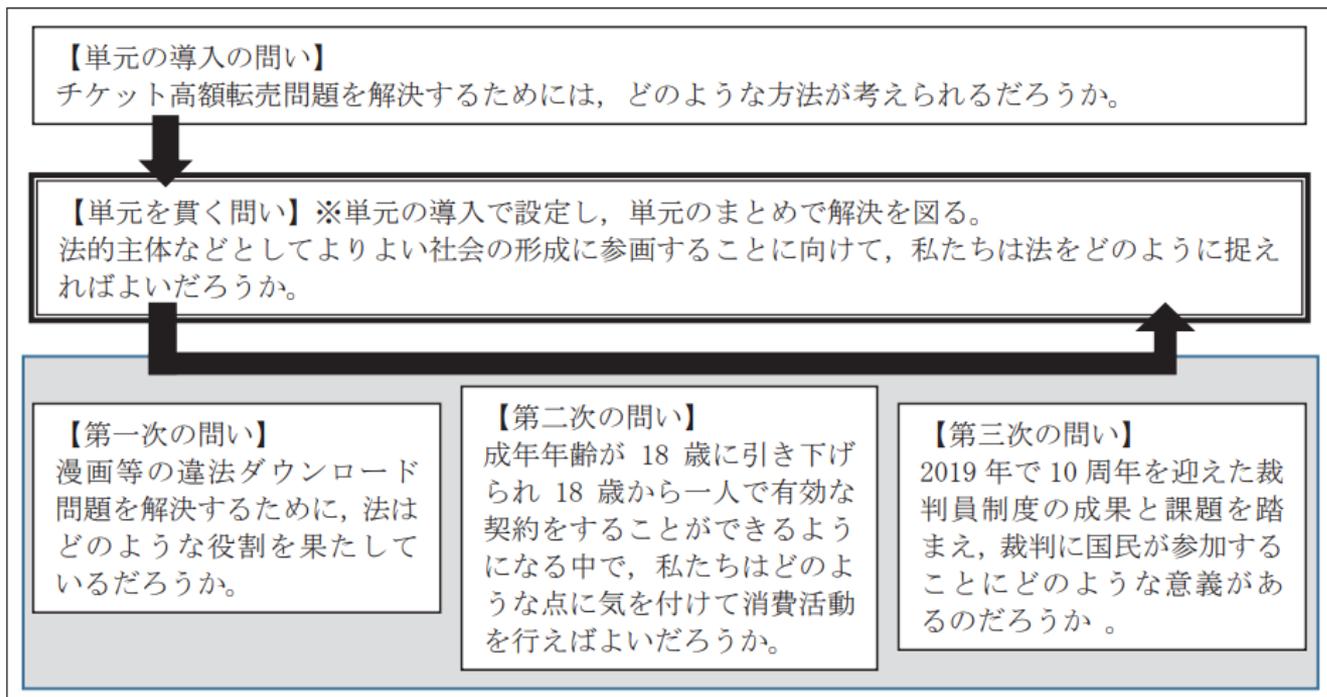
（2）単元における問いの構造



1 公民科学習指導のポイント

➤ 「問い」で単元を構想する 『参考資料』の事例2（大項目B）（p.59）

(2) 単元における問いの構造



1 公民科学習指導のポイント

2 公民科学習評価のポイント

2 公民科学習評価のポイント

➤ 単元の指導計画と評価計画の作成

『参考資料』 (p.58)

公民科 事例2 (公共) キーワード 「主体的に学習に取り組む態度」の評価	
単元名 主として法に関わる事項	内容のまとめり 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち (主として法に関わる事項)

1 単元の目標

自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて、現実社会の諸課題に関わる具体的な主題を設定し、幸福、正義、公正などに着目して、他者と協働して主題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるようにする。

- ・法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義に関わる現実社会の事例や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。
- ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。
- ・主として法に関わる事項について、法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。
- ・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。

大項目Bの「内容」において「次の事項を身に付けることができるよう指導する」とされていることを目標とすることが考えられる。「内容」に直接示されていない「学びに向かう力、人間性等」については、「目標」を基に設定することが考えられる。

例) 内容…理解すること→目標… (生徒が) 理解する

評価規準は、単元の「目標」から設定されなければならない。

例) 目標…理解する→評価規準… (生徒が) 理解している

2 単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義に関わる現実社会の事例や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動す	・幸福、正義、公正などに着目して、主として法に関わる事項について、法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

2 公民科学習評価のポイント

➤ 単元の指導計画と評価計画の作成

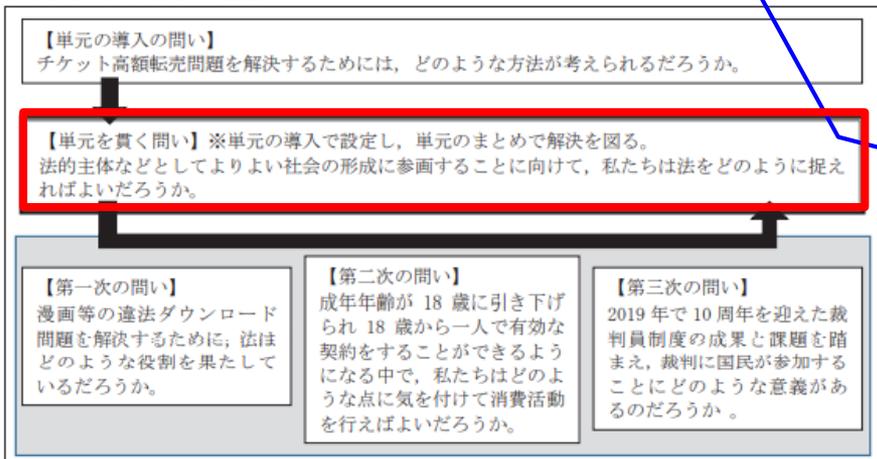
『参考資料』 (p.59)

3 指導と評価の計画 (11 時間)

(1) 単元の指導計画

単元の導入	(1 時間)
第一次	(3 時間)
第二次	(3 時間)
第三次	(3 時間)
単元のまとめ	(1 時間)

(2) 単元における問いの構造



(7) **法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義**などに関わる**現実社会の事柄や課題を基に**、**憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解すること。**

第一次

法や規範の意義及び役割

第二次

多様な契約及び消費者の権利と責任

第三次

司法参加の意義

2 公民科学習評価のポイント

➤ 単元の指導計画と評価計画の作成 『参考資料』 (p.60)

● 「学習改善につながる評価」

資質・能力を身に付けるための学習活動に対して、生徒の学習状況を見取り、「努力を要する」状況（C）と判断した生徒に対する適切な支援や助言などの手立てをあらかじめ想定しておく。

第一次	【第一次のねらい】 漫画等の違法ダウンロード問題を解決するためのルールに体験することにより、法の一般性、明確性など、法が公正なルールとしてについて考察する活動を通して、法は刑罰などによって国民の行為を規制しただけでなく、国民の活動を積極的に促進し、紛争を解決するなど、日常していることを理解させる。
3時間	【第一次の問い】 漫画等の違法ダウンロード問題を解決するために果たしているだろうか。
	◇インターネット上に違法にアップロードされたものなど知らず知らずのうちに侵害コンテンツのダウンロードを行う行為の背景にある意見や利害の対立についてグループで調べ、【第一次の問い】を設定する。 問 漫画等の違法ダウンロード問題の背景には、どのような意見や利害の対立があるだろうか。 留 クリエイターや制作会社、ユーザー等の視点から考察させる。
	◇漫画等の違法ダウンロードを規制する法律の内容について、グループで考察し、【第一次の問い】を追究する。 問 漫画等の違法ダウンロードを規制するためには、どのような内容のルールをつくるべきだろうか。 留 指導にあたっては、弁護士など専門家や関係諸機関との連携・協働を図る。 ・法の一般性、明確性など、法が公正なルールとして備えるべき特質を踏まえ、第1条では法律の「目的」を、第2条では漫画等の違法ダウンロードという「要件」を満たした場合の「効果」を、第3条では違法ダウンロードの「定義」をそれぞれ考察する。
	◇法的三段論法を用いて、漫画等の違法ダウンロードを規制する法律をいくつかの事例に適用した結果の妥当性についてグループで考察し、【第一次の問い】を解決する。 問 漫画等の違法ダウンロードを規制した法律を適

2 公民科学学習評価のポイント

➤ 単元の指導計画と評価計画の作成 『参考資料』（p.57）

資料 指導の展開例における評価の場面

次・時／観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第一次	第一時	○	● ← ※学習の見通し
	第二時	○	● ←
	第三時	○	○ ←
第二次	第一時	○	● ←
	第二時	● ← ○ ※「技能」の評価	○ ←
	第三時	○ ←	● ←
第三次	第一時	○	
	第二時		● ←
	第三時		● ←
	第四時	○	○ ← ※単元の振り返り

2 公民科学習評価のポイント

➤ 「知識・技能」の観点の評価規準作成のポイント 『参考資料』（p.42）

「知識」

- ・ 個別の事実的な知識のみではなく、社会における様々な場面で活用できる、現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を身に付けている状況を、評価規準に盛り込む。

「技能」

- ・ 諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている状況を、評価規準に盛り込む。

2 公民科学学習評価のポイント

➤ 「思考・判断・表現」の観点の評価規準作成のポイント 『参考資料』（p.43）

- ・現代の諸課題について、**事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に**考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている状況を、評価規準に盛り込む。

事実を基に考察，構想している

概念などを活用して考察，構想している

多面的・多角的に考察，構想している

2 公民科学学習評価のポイント

➤ 「主体的に学習に取り組む態度」の観点の評価規準作成のポイント

『参考資料』（p.63～）

主体的に学習に取り組む態度

- 自らの学習を調整しようとしながら粘り強く取り組む状況
- よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度

2 公民科学学習評価のポイント

➤ 「主体的に学習に取り組む態度」の観点の評価規準作成のポイント

○単元のはじめに見通しをもたせる

→単元を貫く問いに対する疑問

→単元を貫く問いを解決するために必要な情報

→単元を貫く問いを解決する手掛かりとなる既有知

→単元を貫く問いに対する当初の答え

○単元の途中で振り返らせる

→ここまでの学習活動で、単元を貫く問いを考える上で重要なこと

○単元の終わりで振り返らせる

2 公民科学学習評価のポイント

➤ 「主体的に学習に取り組む態度」の観点の評価規準作成のポイント

『参考資料』（p.64～）

資料 「主体的に学習に取り組む態度」に係るワークシート（一部）

《単元のまとめ》

○単元の始めに立てた【単元を貫く問い】に対する解決の見通しを踏まえて、これまでの学習を振り返り、自分自身の考えを広げたり、深めたり、まとめたりする際に有効と考える学習活動はどのようなものでしたか。また、なぜ、そのような学習活動が有効だと考えますか。

○単元の学習を振り返り、これからも考え続けたい現代の諸課題は何ですか。また、自分や社会との関わりも踏まえて、考え続けたい理由を説明してみよう。

新学習指導要領の改訂のポイントと学習評価 (高等学校 公民科)

文部科学省

初等中等教育局

教育課程課教科調査官 磯山 恭子
飯塚 秀彦